

2-1 上位計画の概要

1 「高岡市総合計画（H13.3策定）」

(1) 高岡市の都市像

多彩な産業と薫り高い文化を持つ我が高岡は、21世紀に期待される環日本海交流の飛躍的な進展をも視野に入れながら、これまで蓄積してきた有形・無形の豊かな資産を最大限に生かし、

富山県西部の中核都市としてふさわしい躍動・創造するまち
独自の歴史的・文化的基盤を生かした個性豊かなまち
市民の積極的な参加と協働によってつくるまち

をめざすものとする。

このようなまちづくりを進めるに当たっては、市の内外を問わず、高岡を愛する人々が一人ひとりの思いの中に我がふるさと高岡のイメージを描き、高岡のために汗を流し、知恵を出しながら、

「生き生き市民都市 高岡」

を建設することとする。そのため、高岡市の都市像を以上の通り定め、次の4つの柱を掲げて、都市像の実現に邁進する。

4つの柱

活力ある産業都市

都市基盤・産業

人間尊重の福祉都市

福祉・保健・医療

こころ豊かな文化都市

教育・文化・スポーツ・市民交流

うるおい生活都市

生活環境・都市景観

(2) 土地利用構想

■都市的土地利用

自然環境、農業生産環境の維持保全を図りながら、良好な住宅地の供給やまとまりのある企業用地の確保に努める。

富山県西部の広域的な中心都市としての機能を高めるため、商業・サービス・業務等の高次都市機能の集積を促進するとともに、緑豊かなうらおいのある都市空間の創出に配慮しながら、にぎわいと魅力あふれる商業・業務等の都市軸の形成を図る。

高速道路などの高速交通網を生かし、大都市圏や近隣都市との人・物・文化等の交流の促進や公共交通網の積極活用、効率的な公共投資に留意した土地利用の展開を図る。

既成市街地の低・未利用地の有効活用を促進し、新たな市街地形成を図る場合には無秩序な拡大を抑制することにより、まとまりのある市街地形成を図る。

都市的土地利用の状況を次のように設定する。

			(現況)
住宅地	2,385 ha	135ha増	2,250 ha
商業地	290 ha	30ha増	260 ha
工業地	840 ha	115ha増	725 ha
その他用地	585 ha	90ha増	495 ha
	(大規模公共公益施設用地)		
合計	4,100 ha	370ha増	3,730 ha

■農業的土地利用

農用地は、市民への食料の安定供給の場であり、農業者の生産基盤と生活基盤であると同時に、都市の緑地空間としても重要な役割を有していることから、今後とも、優良農用地の確保とその有効活用を図る。

■自然的土地利用

自然は、市民が共有する貴重な財産であることから、能登半島国定公園・二上山公園や高岡古城公園などの優れた自然景観を有する地域や風致地区など、都市の自然美を有する区域の保全を図る。また、西山や御坊山などの丘陵地においても開発との調和を図り、恵まれた自然環境を保全する。

（１）都市計画の基本理念

富山高岡広域都市計画区域は、本県の中心都市圏として、さらに環日本海交流の中核として中心的な役割を担う都市圏の形成を図るとともに、本地域内の各地域の特性を生かしながら、住民が真に豊かさを実感できる都市づくりの実現を目指すため、次の事項を基本として都市づくりを進める。

～21世紀の県勢発展の原動力となる中心都市圏の形成～

- 広域的な連携・交流による都市づくり
- 人々が集いにぎわう都市づくり
- 産・学・住・遊のバランスのとれた都市づくり
- 人や環境にやさしい都市づくり

（２）高岡市の市街地像

県西部の中心都市である高岡市においては、日本海側有数の工芸・文化のまちとして発展してきた歴史的・文化的基盤を活かした、生き生き市民都市 高岡を目指す。

このため、デザイン、工芸に優れた地場産業や伝統産業を生かしながら商業を集積し、サービス・業務などの拠点を充実させ、緑豊かなうるおいのあるにぎわいと魅力あふれる市街地の形成を図る。また、自然環境、農業生産環境の維持保全と適切な土地利用を誘導したうえで、良好な住宅地や適正な企業用地を供給し、高速道路などの高速交通網を生かした人・文化などの交流を促進する。

（３）目標年次

本区域マスタープランの基本理念・将来像は、概ね 20 年後の都市の姿を展望するものとし、目標年次を平成 32 年とする。

市街地の規模、都市施設の整備などに関しては、概ね 10 年後の将来を予測するものとし、目標年次を平成 22 年とする。

（４）土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

県都富山市と県西部の中心都市高岡市を含む富山高岡広域都市計画区域は、富山県における中心都市圏として、県勢発展の牽引役を担う地域である。

本区域は、かつては鉄道駅や港の周辺または幹線道路沿いに市街地が形成されてきた。しかし、その後郊外に市街地がやや低密度に拡大し、中心市街地における土地利用が必ずしも十分ではないまま、さらに人口の減少や商業活動の低迷などによる空洞化の兆しが現れている。

このような状況を踏まえ、優れた自然環境や歴史的な街並みを活かし魅力ある快適で質の高い、商業、業務、行政などの多くのサービスを住民に提供していくため、富山・高岡両市の中心部ではこれまでの商業の集積、業務拠点の充実に加え、時代にふさわしいサービス業の集積を図り、国際交流の場や高度情報を提供し、また周辺地域の中心市街地についても、地域にふさわしい都市機能の向上に努めていくこととする。